

加古川市立中央図書館だより

(発行) 加古川市立中央図書館

〒675-0101

加古川市平岡町新在家1224-7

(TEL) 079-425-5200

(FAX) 079-425-6696



ぶっくガーデン

NO.253 - 2023年12月 (URL) <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kakogawa/>

年末年始お役立ち本— 実用書から読み物まで—

今年も残り少なくなりました。猛暑や大雨など異常気象が顕著な一年でした。今月は掃除や片付け、おせち料理などの正月に向けた準備、また、クリスマスやお歳暮など年末年始に役に立つと思われる本を集めました。また、この時期に関係ある読み物も少しご紹介します。

- ・「〈第九〉と日本人」 鈴木 淑弘 春秋社 764.3 - Ⅱ
毎年暮れになると全国で第九、すなわちベートーヴェンの「交響曲第9番ニ短調 作品125」の公演があったり、歌われたりします。かくも日本人に親しまれている交響楽はないように思いますが、日本での初演は第一次大戦のドイツ人捕虜による実演が始まりとのこと。日本人と第九との関わりやその意味について考察を加えた本です。
- ・「基本のラッピング」 成美堂出版 385.9 - キ
年末は、歳暮にクリスマスとプレゼントや贈り物を包む機会が多い時期です。自分で包んで贈ると気持ちも確実に相手に伝わるのではないのでしょうか。この本には基本的な包み方から、アレンジまでのアイデアがわかりやすく書かれています。
- ・「おくりものがたり」 伊藤 まさこ 集英社 385.9 - Ⅰ
贈り物は贈り手の気持ちを伝える方法です。また、もらった方は相手が自分のことを考えてくれたことに嬉しくなります。そして、贈り物にはそれぞれに物語があるようにも思います。この本はそんな贈り物について47の話が書かれており、読んだ後は心が温かくなります。あらためて、贈り物はモノを通して人と人とが心の交流であると思えてきます。
- ・「年賀状のおはなし」 日本郵便株式会社:監修 ゴマブックス 693.8 - ネ
年末の仕事の一つは年賀状を書くこと…という習慣が長く続いてきましたが、社会の変化の中で少しずつ減っているようです。しかし、まだまだ年賀状を贈る習慣は続いています。それで、この年賀状ですが、何と始まりは飛鳥時代であるそうです。以来、日本人の中に生き続けてきたわけですが、年賀状は書面を通しての贈答であり、贈り物と同じように感じます。各時代の年賀状を紹介し、その歴史について書いている本です。
- ・「ラクラクお掃除新津式汚れ落とし術」 新津 春子 産業編集センター 597.9 - ニ
掃除も年末に行う大事な作業ですが、自分流で済ましている方も多いと思います。しかし、たまには掃除のプロが書いた本を手にとると思わぬヒントやコツを発見するかもしれませんよ。
- ・「図説クリスマス全史」 タラ・ムーア 丸善 386 - Ⅳ
12月のメイン行事はやはりクリスマスと言えるでしょう。クリスマスは本来はキリスト教にまつわる祭礼ですが、現代では世界的な祝祭となっています。その起源や習慣、世界各地での祝い方など、クリスマスについての歴史を詳しく解説している本です。
- ・「クリスマス・キャロル」 ディケンズ 新潮社 933 - デ
クリスマスイブの夜、ケチで冷酷で人間嫌いのがりがり亡者スクルージが過去現在未来の幽霊と対面することで、心を変えていくというお話。ディケンズの優しい心が生んだ作品です。クリスマスを主題にしたものでは、ケストナーの「飛ぶ教室」(943-ケ)やヴァレンタイン・デイヴィス「34丁目の奇跡」のほか、日本の小説にもいろいろとあります。

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日: 午前10時～午後8時 日・祝休日: 午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【12月の休館日】 11日(月)、25日(月)、29日(金)～31日(日)

【1月の休館日】 1日(月)～3日(水)、9日(火)、22日(月)

* * 図書館からのお知らせ * *

● 年末年始の休館及び貸出冊数等について (お知らせ)

- ・図書館(市内4館)は12月29日(金)より1月3日(水)まで休館となります。
1月4日(木)より通常どおり開館いたします。
(海洋文化センター図書室のみ1月4日(木)は定期休館日になるため、開館は1月5日(金)からになります。)
- ・休館中の返却は各館の返却ポストをご利用ください。
(まち案内所は12月29日~1月3日は休みです。)
- ・12月15日(金)より28日(木)までの間、貸出上限冊数及び期間を拡大いたします。
(通常) (12/15~28)
10冊、2週間以内 → 15冊、3週間以内
※1月の開館より10冊2週間に戻ります。



● 集会行事 (一般向け) のお知らせ

(1) 読書講演会 (令和5年12月17日(日)開催)

演題 「親子の思い - 「万葉集」を理解して現代へとつなぐ-」
講師 廣川 晶輝氏 (甲南大学教授)
場所 視聴覚室 (図書館2階)

※定員は50人で申込受付中です。定員に達している場合もありますので、
お問合せください。(中央図書館 電話079-425-5200)

(2) 読書講座 (令和6年1月27日(土)、2月24日(土)の2回開催)

テーマ 「赤松氏の城郭」
第1回 (1月27日) 「置塩城」 第2回 (2月24日) 「城山城」
※連続2回開催の講座です。

講師 古野 貢 (武庫川女子大学教授)
場所 視聴覚室 (図書館2階)
定員 50人 (先着順)

受付開始 令和5年12月6日(水)10時より中央図書館窓口、電話(079-425-5200)、
FAX(079-425-6696)で受付 (FAXの場合、参加者の氏名及び連絡先電話番号をお知らせください。)

(予告)

2月に児童書をテーマにした「子ども読書講演会」(一般対象)を予定しています。
詳細は「ぶっくガーデン」来月号でお知らせいたします。

行事のお知らせ (児童)

● 親子えほんの会 (毎月第1金曜日)

【日時】 12月1日(金)

- ① 10:30~10:45
- ② 11:00~11:20

【対象】 ① 0歳の子どもと保護者

- ② 1歳から3歳までの子ども
と保護者

【定員】 各15組(先着順)

● えほんのじかん (毎月第2・4土曜日)

【日時】 12月9日、23日(土)

14:00~14:30

【対象】 3歳以上の子ども

【定員】 30人(先着順)

● おはなし会 (毎月第1・3・5土曜日)

【日時】 12月2日、16日(土)

14:00~14:30

【対象】 4歳以上の子ども

【定員】 30人(先着順)

◎場所は、すべて「おはなしのへや」です。

